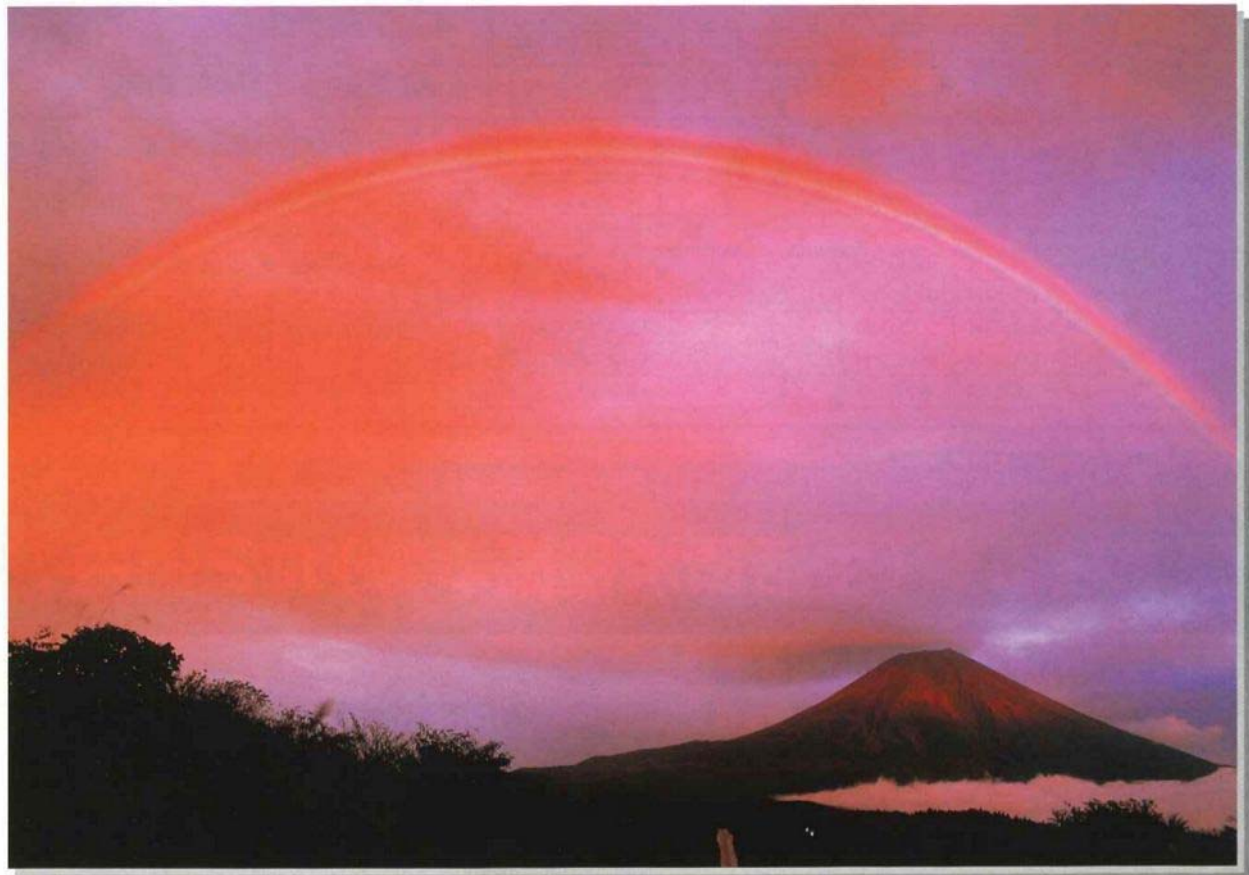


# 砂防だより



夕照虹彩 (富士宮市根原)

砂防関係事業の推進を国へ要望 .....	2
静岡県9月補正予算 .....	
平成15年土砂災害の発生状況と対策 .....	3
市町村長等砂防事業県外視察 .....	4
平成14年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 .....	6
インフォメーション .....	8
わがまちの砂防 (土肥町・清水町・榛原町・新居町) .....	10
砂防関係の主な行事 .....	12



## 平成15年 土砂災害の発生状況と対策



## 市町村長等による砂防視察研修 青森県砂防事業現地視察 平成14年度 砂防関係事業の代表的な 完成箇所

平成16年度

# 砂防事業の推進を国へ要望!!

本支部では、8月20日に、直轄砂防事業の推進、補助砂防関係事業の推進、富士山火山砂防対策の一層の推進を図るため、国に対し来年度予算に格別の配慮を賜うよう要望しました。

要望先は、本県選出の国会議員をはじめ、国土交通大臣、技監、国土交通省の関係幹部職員など30名にのびりました。



## 要望事項

- ①直轄砂防事業の推進
- ②補助砂防関係事業の推進
  - (1)土砂災害防止施設の整備推進
  - (2)土砂災害ソフト対策の推進
- ③富士山火山砂防対策の推進

## ●県の9月補正予算

# 県単独事業（生活環境整備事業）に2億円!!

県の平成15年度9月補正予算が発表されました。

一般会計の補正規模は、災害も多いこともあり154億6,800万円と昨年度の97億1,500万円に比べ57億円余り多くなりました。

砂防関係予算は、13億1,400万円の増額補正があり、9月現計で114億6,345万円余となりました。

補正の内訳は国庫補助事業で11億1,400万円（当初予算の追加申請分）、県単独事業で2億円（生活環境整備事業）です。県単独事業においては、7～8月の梅雨前線豪雨、台風10号等の土砂災害への対応が必要な箇所を重点とし、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊対策事業に配分しました。

(単位：千円)

区 分	平成15年度予算			H14最終予算 (B)	A/B (%)
	当初予算	9月補正額	合 計 (A)		
行 政 費	17,457	0	17,457	43,485	40.1
国庫補助事業	7,196,000	1,114,000	8,310,000	8,028,316	103.5
県単独事業	1,702,000	200,000	1,902,000	1,839,000	103.4
国直轄事業負担金	1,234,000	0	1,234,000	2,204,768	56.0
合 計	10,149,457	1,314,000	11,463,457	12,115,569	94.6

平成15年

# 土砂災害の発生状況と対策

平成15年は9月26日までに全国42都道府県で825件（土石流47件、地すべり107件、がけ崩れ671件）の土砂災害が発生しています。

県内では、8月14～16日の豪雨を中心に61件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

発生した土砂災害のうち、今後の降雨により被害の拡大の恐れがあり、緊急に防止対策を必要とする7箇所に対しては、災害関連緊急対策事業で、迅速な対策を図っています。

静岡県の土砂災害の発生件数（平成15年9月30日現在）

原因	H11	H12	H13	H14	H15
土石流	0	4	0	1	4
地すべり	2	1	7	4	7
がけ崩れ	10	16	14	37	50
計	12	21	21	42	61

平成15年度災害関連緊急事業 実施状況（平成15年9月30日現在）

区分	箇所数	箇所名	市町村名	事業費 (百万円)	事業内容	採択日	被災原因
砂防	1	大和田沢	静岡市	90.0	堰堤工	H15.7.30	H15.7.3～4 梅雨前線豪雨
地すべり	3	丸子逆川	静岡市	726.0	法枠工、アンカー工、横ボーリング工	H15.8.20	H15.7.3～4 梅雨前線豪雨
		子持坂	岡部町	162.0	横ボーリング工、杭工	H15.8.20	H15.7.3～4 梅雨前線豪雨
		神尾	金谷町	897.0	法枠工、アンカー工、横ボーリング工	H15.9.16	H15.8.14～16 豪雨
がけ崩れ	3	大久保	賀茂村	45.4	擁壁工、吹付法枠工	H15.6.3	H15.4.8 豪雨
		大和田	静岡市	29.8	擁壁工、吹付法枠工	H15.8.26	H15.7.3～4 梅雨前線豪雨
		勝俣橋柄	榛原町	90.0	排土工、吹付法枠工	申請中	H15.8.14～16 豪雨

## 大和田沢【砂防】

7月3～4日の梅雨前線豪雨により、静岡市西部に位置し、(二)小坂川に合流する大和田沢で土石流が発生しました。多量の土砂を流出させ、下流域の住宅地を直撃する被害が発生し、今なお溪床には多量の不安定土砂や倒木が存在しているため、土石流防止対策として砂防堰堤を施工すべく災害関連緊急砂防事業を申請し、採択されました。

## 神尾【地すべり】

8月14～16日の豪雨により、大井川鉄道神尾駅付近において斜面崩壊が発生した。地すべり現象が進行して再度災害の恐れがあるため、災害関連緊急地すべり対策事業を申請し、採択されました。

## 大久保【急傾斜】

4月8日の豪雨により、人家の裏山でがけ崩れが発生し住宅1戸の一部が損壊した。現在、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業で防止工事を施工しています。



大和田沢土石流被災状況（静岡市）  
被災日 H15.7.4



神尾地すべり被災状況（金谷町）被災日 H15.8.17



大久保がけ崩れ被災状況（賀茂村）被災日 H15.4.10

市町村長等会員による砂防視察研修

# 青森県砂防事業現地視察



砂防協会県支部は、7月24～26日に青森県の砂防事業を視察しました。  
この視察は、青森県県土整備部の協力を得て実施したもので、原田袋井市長を団長に29名が参加しました。

また、この視察は、毎年当支部が実施している事業で会員（市町村長）により砂防関係事業先進地を視察し、認識を新たなものにするとともに、生きた教訓により砂防事業の周知・普及を図ろうとするものです。

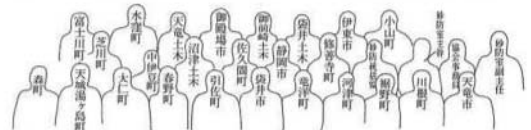
移動のバスの中では、青森県河川砂防課八木橋砂防グループリーダーの挨拶に続き、今回の視察で視察箇所・日程等の調整をしてくださった桜庭総括主幹より視察現場の内容と一級河川岩木川水系蔵助沢土石流災害と訴訟の概要について説明を受け、参加者の皆さんは興味深く聞いていました。

連日雨に見舞われ、最終日は宮城県地震により東北新幹線が遅れるなどのトラブルにも見舞われましたが、青森県及び各土木事務所の親切な説明により、有意義な視察となりました。関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。



日程

- 7月24日 青森空港集合 → 青森市
- 7月25日 浅所区域急傾斜地崩壊対策事業（平内町）  
塚ノ越沢通常砂防事業〈弱者対策〉（平内町）  
葛川火山砂防整備事業（十和田湖町）
- 7月26日 八戸駅解散



参加市町村等

袋井市(団長)、河津町、春野町、伊東市、御殿場市、裾野市、修善寺町、大仁町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、小山町、芝川町、静岡市、富士川町、川根町、森町、竜洋町、天竜市、佐久間町、水窪町、引佐町、沼津土木事務所、御前崎土木事務所、袋井土木事務所、天竜土木事務所、砂防室(事務局)

## 浅所区域急傾斜地崩壊対策事業〈平内町〉

浅所区域急傾斜地崩壊危険区域は、青森市の東方、陸奥湾を望む夏泊半島の東側の付け根付近に位置しています。当区域の全体計画区間は960mで、砂質土と連続繊維をジェット水と共に噴射・混合させて法面に構築する連続繊維補強土工（ジオファイバー工法）を採用しており、小雨の降る中、会員は実際の施工機械を見ながら、静岡県では、見慣れない緑の斜面づくり工法に、熱心に見入って、青森県土整備事務所の担当者に質問をしていました。



浅所区域急傾斜地崩壊対策事業

## 塚ノ越沢通常砂防事業（弱者対策）〈平内町〉

塚ノ越沢は、浅所地区のすぐ西側に位置し、現場は災害弱者施設（救護施設）対策として、砂防堰堤（L=92.5m、堤高H=5.5m）を工事中であり、堰堤下流側を県単事業で砂防公園を計画しています。堰堤は化粧型枠を利用し、景観に配慮しており、災害弱者対策を重点施策としている砂防事業に、会員の関心が集まりました。



塚ノ越沢通常砂防事業

つたがわ

## 葛川火山砂防整備事業 <十和田湖町>



出会い橋で十和田県土整備事務所担当者より説明を受ける

葛川は、十和田湖・八幡平国立公園の一角に位置し、十和田湖より流入する二級河川奥入瀬川水系の左支川であり、八甲田山系の標高1,500m級の火山を水源として南東に流下し、十和田湖温泉郷の直上流にて奥入瀬川本流と合流する延長L=10.0kmの砂防荒廃河川です。

青森県十和田県土整備事務所の説明によると、昭和29年より昭和60年度まで上流域に砂防ダム6基を完成し、その整備率は奥入瀬溪流合流点において約45%であるが、過去の土砂流出により通天橋附近から下流奥入瀬川合流点に至る区間約2km間には多量の堆積土砂が残存しており、今後それが流出を生じ、下流の人家・農地、国道等に被害を与える危険があるため、溪床内

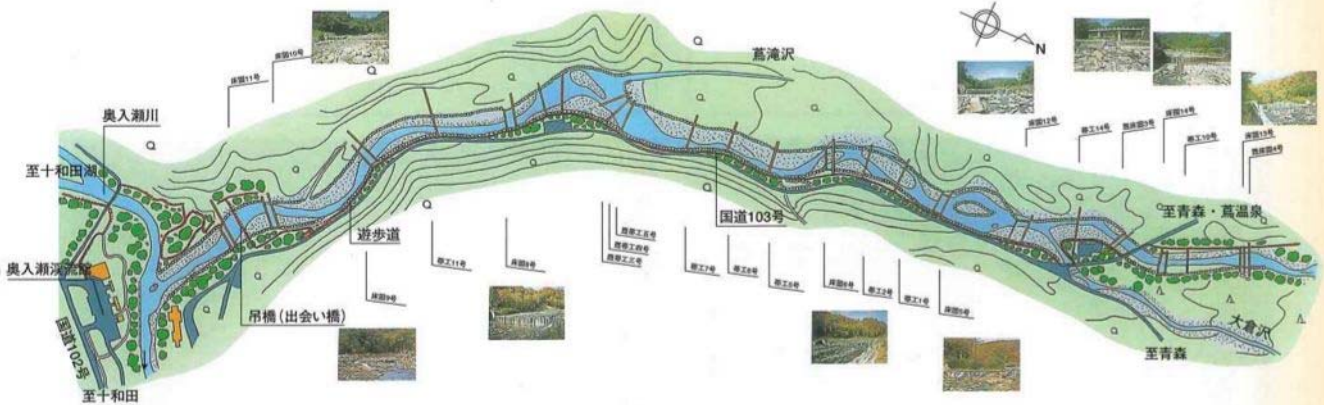
の不安定土砂の移動を防止し、奥入瀬本川への流出軽減を図るため、河道整備を行ってきたそうです。また、景観保全上の観点から平面形は極力現流路に沿わせ、施設は必要最小限の床固工・護岸工を配置し、コンクリートの表面は、現地の転石を利用した石張工とし、自然景観との調和を図ったそうです。

なお、河道整備後は環境作りを積極的に推進し、水辺空間を自然と親しみながら砂防事業の学習ゾーンを創造し、多くの観光客を呼んでいるそうで、会員は、観光地付近の地域振興に大いに役立っている砂防施設づくりに関心を示していました。



景観に配慮した護岸工

### 葛川火山砂防事業区間 L=2.0km <平面図>



## 参加者の声

視察団長 袋井市長 原田英之  
(全国治水砂防協会 静岡県支部副支部長)

今年度の市町村長等による砂防事業県外視察は、「青森県の砂防事業」を視察しました。全国的に冷夏の中、青森県も例外でなく、特に“山背”の影響か全般的に涼しい視察の旅となりました。

地域の景観に配慮した緑の斜面が印象的であった浅所区域の急傾斜地崩壊対策事業、弱者施設を保全し周囲の環境と調和する砂防公園づくりを行っている塚ノ越沢通常砂防事業、十和田・八幡平国立公園内の景観保全に配慮し水辺空間を自然と楽しめる葛川火山砂防整備事業等、地域に密着し安全・安心社会づくりに貢献する砂防事業を視察しました。今回、視察した施設を参考に、今後の地域づくりに大いに役立てて参りたいと思います。

視察先では、青森県河川砂防課八木橋砂防グループリーダーをはじめ、青森・十和田各県土整備事務所の皆様に多大な御協力と御配慮をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

また、行程最終日に宮城県地震に遭遇するアクシデントに見舞われましたが、団員各位の御協力により全員無事で全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝しております。

# 平成14年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂 防 事 業



### ● 熊本ノ沢砂防堰堤

事業名/火山砂防事業  
 箇所/賀茂郡東伊豆町大川地先  
 期間/平成12~14年  
 事業費/212百万円  
 概要/コンクリート砂防堰堤  
 H=14.0m、L=64.3m  
 事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を  
 施工し、人家208戸、緊急輸送路(国道135  
 号線)の安全が図られた。



### ● 麓川床固工群

事業名/火山砂防事業  
 箇所/富士宮市麓地先  
 期間/平成5~14年  
 事業費/861百万円  
 概要/床固工4基、砂防樹林帯  
 事業効果/土石流による災害を防ぐため、床固工及び砂  
 防樹林帯を施工し、人家50戸の安全が図ら  
 れた。



### ● 和田ノ沢砂防堰堤

事業名/通常砂防事業  
 箇所/静岡市足久保口組舟沢地先  
 期間/平成12~14年  
 事業費/179百万円  
 概要/コンクリート砂防堰堤  
 H=13.0m、L=64m  
 事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を  
 施工し、人家11戸の安全が図られた。



### ● 瀬名宮沢砂防堰堤

事業名/通常砂防事業  
 箇所/静岡市瀬名地先  
 期間/平成10~14年  
 事業費/163百万円  
 概要/コンクリート砂防堰堤  
 H=14.5m、L=46m  
 事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を  
 施工し、人家15戸の安全が図られた。

## 地すべり対策事業



### ● 西 渡

事業名/地すべり対策事業  
災害関連緊急地すべり対策事業  
箇所/磐田郡佐久間町大井地内  
期間/昭和59年～平成14年(地すべり対策事業)  
平成8年(災害関連緊急地すべり対策事業)  
事業費/646百万円(地すべり対策事業)  
1,173百万円(災害関連緊急地すべり対策事業)  
概要/集水井工2基、横ボーリング工 L=9,650m  
アンカー工 N=585本  
事業効果/地すべりによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家191戸及び国道473号の安全が図られた。

## 急傾斜地崩壊対策事業



### ● 伊波本側

事業名/急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/賀茂郡南伊豆町石廊崎地内  
期間/平成13～14年  
事業費/89百万円  
概要/張りコンクリート擁壁工 L=35.6m  
重力式擁壁工 L=39.3m  
事業効果/がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家19戸及び町道石廊崎線の安全が図られた。



### ● 眠り久保 No.2

事業名/急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/三島市谷田地内  
期間/平成13～14年  
事業費/144百万円  
概要/法枠工 A=1,318㎡ L=58.6m  
事業効果/がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家23戸の安全が図られた。



### ● 滝沢浜井場

事業名/災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/藤枝市滝沢地内  
期間/平成13～14年  
事業費/89.7百万円  
概要/重力式擁壁工 L=59.8m  
法枠工 A=1,546㎡  
事業効果/平成13年8月の豪雨によるがけ崩れにより災害が発生したため、対策工事を施工し、人家8戸の安全が図られた。

## 7月3～4日の豪雨で 木和田川砂防二号堰堤(登録有形文化財)が決壊!!

7月3～4日の梅雨前線豪雨(最大時間雨量80mm、連続雨量281mm)により、登録有形文化財(文化庁)に指定されている木和田川(岡部町)の空石張り(兜)堰堤8基のうち、二号堰堤の中央部が決壊しました。

木和田川の砂防堰堤群は、大正元年に完成して以来、約90年間にわたって砂防機能を維持し続け、周辺は岡部町の「つたの細道公園」整備事業と一体となった「砂防学習ゾーン」として整備されていました。また、地元のボランティア団体「横添ふるさと会」は、施設の維持管理を行う一方、イベントの開催、施設の案内などを通じて地域の歴史の伝承に努めており、これらの功績に対し、平成14年度の土砂災害防止功労者、平成15年度の「人と建設技術」大賞が送られています。このように、地域の皆様に愛され、親しまれてきた砂防堰堤群でしたが、最も中心的な二号堰堤が残念ながら決壊してしまいました。

県では、「木和田川砂防二号堰堤復旧検討委員会」を設置し、「外観上は原型に近い状況に、内部は補強を加える」という方針のもと、砂防災害復旧事業に申請したところ、このほど採択されました。



被災前



被災後

### 平成16年概算要望

## 国土交通省が由比地区直轄地すべり対策事業調査を新規要求

由比地すべりは、庵原郡由比町に位置し、糸魚川・静岡構造線に近接しています。地すべり地は、非常に急峻で海との狭い範囲に日本の大動脈(東名高速道路、JR東海道本線、国道1号線)が集中しています。

現在想定されている東海地震の震源に近い位置にあることから、地震をきっかけに地すべり活動が活発となった際の重要交通網に与える多大な影響を未然に防止する必要から、地震の想定震度に対応した検討のための地すべり調査を実施するため、新規に概算要求したものです。

## 平成15年度「富士山火山防災対策に関する連絡調整会」開催



ハザードマップ(試作品)

9月9日に、「富士山火山防災対策に関する連絡調整会」が開催されました。

この連絡調整会は、富士山に関する防災情報の共有と関係機関との連携を目的として、防災局を中心に、国土交通省沼津河川国道・富士砂防・静岡国道3事務所、静岡地方気象台、陸上自衛隊、静岡県(防災局、土木部、警察本部)及び6市3町などで構成されており、土木部では、土木防災室、砂防室、富士土木事務所、沼津土木事務所が参加しています。

今回の会議では、最近の富士山の地震活動のほか、現在、国において作成が進められている「富士山ハザードマップ(火山防災マップ)」の進捗状況や今後のスケジュールなどの説明がありました。

## 平成15年度「東海地区砂防担当課長補佐会議」開催

8月30日に、東海地区砂防担当補佐会議を静岡市で開催しました。東海4県の砂防担当補佐(技術・事務)で、各県の抱えている問題について活発な意見を交換しました。

また、現場視察として、県土木防災情報センター(県庁本館)で土砂災害雨量情報システムの概要説明、県地震防災センター(静岡市駒形通)で静岡県の地震対策の概要を説明しました。



会議の様子



## 各地の自主防災会議で土砂災害講座を開催

静岡県の自主防災組織は組織率97.1%（平成13年4月1日現在）と全国で最も高く、東海地震等の大規模災害への備えとして、日頃から地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施などを行っています。

土砂災害防止講習会は、こうした自主防災活動の一環として行われる各種会議や、説明会等に併せて県砂防室または各土木事務所職員が講師として各市町村に赴き、自主防災役員等に対して、土砂災害の恐ろしさや発生のしくみ、日頃の監視のポイント等を説明するとともに、土砂災害の前兆現象等の通報をお願いしています。

今年度も5月29日の函南町での自主防災会長会議を皮切りに、9月末までに、11市町村約590名の方々に受講して頂きました。

今年は、7月末に九州地方を襲った豪雨による大規模な土砂災害をはじめ、本県でも7月3～4日の記録的な集中豪雨、8月8～9日の台風10号、14～16日の豪雨などにより各地で土砂災害が発生しており、参加された皆様も例年以上に真剣な表情で受講していただいています。

実効性のある警戒避難体制づくりには、住民一人一人の防災意識の向上が欠かせないため、地域の自主防災のリーダーとなる方々を対象に今後も積極的に土砂災害防止講習会を開催し、防災知識の普及に努めて参ります。



講座の様子（修善寺町）

### 土砂災害防止講習会 平成15年度

日 程	市 町 村	講習会名	参加人数
5月29日	函 南 町	自主防災会長会議	70人
6月11日	藤 枝 市	地域防災指導員講習会	60人
7月 9日	三ヶ日町	防災指導員研修会	80人
7月18日	大 仁 町	区長会	17人
7月22日	修善寺町	自主防災会長会議	33人
7月23日	川 根 町	自習防災会議	30人
7月29日	岡 部 町	自主防災会議	100人
8月 6日	下 田 市	自主防災会長会議	50人
8月 6日	河 津 町	総合防災訓練打合せ	50人
8月12日	土 肥 町	区長会	40人
8月12日	芝 川 町	総合防災訓練説明会	60人
10月25日予定	森 町	自主防リーダー研修会	120人
10月下旬予定	雄 踏 町	自主防災隊幹部講習会	80人
11月下旬予定	佐久間町	自主防会長・防災委員研修会	80人

## 富士市で土砂災害ハザードマップ公表（11地区で説明会開催）

富士市では、6月20日に土砂災害危険箇所を掲載した防災マップを全戸配布しました。また、土砂災害による被害を受ける恐れのある世帯1,347戸に土砂災害の恐れがある旨のダイレクトメールを送付するとともに、7月3～31日にかけて市内11地区で防災マップ及び土砂災害防止に関する説明会を開催しました。

市では、県砂防室、富士土木事務所と連携し、土砂災害防止に関するCD-ROMや土砂災害危険箇所に関するパワーポイントなど活用し、視覚的にわかりやすい説明を行い、延べ374名の方が説明会に参加、身近にある土砂災害の危険性などについて受講されました。



説明会の様子（若松地区）



- 平成15年 7月 8日 静岡県土木部事業評価審査会（県庁）  
 8月 11日 富士山ハザードマップ検討委員会 第10回活用部会（東京都）  
 9月 7日 全国砂防主管課長会議（東京都）  
 19日 第8回静岡県事業評価監視委員会（県庁）  
 10月 13日 全国河川・砂防主管課長会議（東京都）

# がまちの砂防

土肥町

土肥町 建設課長 土屋賢二

土肥町は、伊豆半島の西海岸に位置し、三方を天城山系の山に囲まれた温暖な気候と豊富な温泉の湧出量を誇る、風光明媚な観光地です。

しかし、このような土地でも過去にいくつかの災害を経験しました。「土肥町災害復興史」によると、昭和36年6月の集中豪雨は「強烈な降雨は、28日昼ごろに至り、短時間に各河川を増水させ、背後地の山林の崩壊は急傾斜のため瞬時に下流へ押出した。」とあり、河川の氾濫、土砂崩れ等の被害は土肥町全体にわたり、町は壊滅状態となりました。



「世界一の花時計」



八木沢大川砂防堰堤

あれから40年経った今日、その時の教訓をもとに、国・県をはじめとする関係機関の皆様のご支援により、河川改修、急傾斜地崩壊対策事業等様々な災害防止対策を施してまいりました。おかげさまで、昭和36年以降町全体が壊滅状態となるような大災害は起きておりません。

これからも、住民が安心して快適な生活が営めるよう、各関係者のご支援を賜りながら、災害防止に努める中で自然と調和した快適な町づくりに努力していきたいと思えます。

清水町

清水町 建設課長 久保田守

清水町は、静岡県東部地域の中心都市である沼津市と三島市の間に位置し、県東部地域の交通の要衝です。

また、沼津・三島両市とは、町の南側に位置する徳倉地区に一部山地が存する以外は、地形的に大きな障害もなく平坦地が連続し、両市の市街地の拡大によって住宅地としての市街化が進んでおります。

その市街地の真ん中で、忽然と湧き出す狩野川水系の柿田川は、東洋一の湧水と清水で全国的に知名度も高く、本町の豊かな自然環境を象徴する水辺空間となっております。



日本名水百選「柿田川」



上ノ坪急傾斜地崩壊危険区域

また、もうひとつの本町の豊かな自然環境を象徴する徳倉地区の山地につきましては、16箇所の急傾斜地崩壊危険箇所と2箇所の土石流危険区域がありますが、ほとんどが未整備であることから、住民に危険箇所を周知することにより、「土砂災害がどこで、どのように起こるか」を知ってもらうことを目的として、土砂災害危険区域図を発行することが急務であり、今年度県の協力を得て作成・配布する予定です。今後も、関係機関の皆様のご支援を賜り、安全と安心を実感できるまちづくりを目指して参ります。



## 榛原町

榛原町 建設課長 中西義昭

榛原町は、静岡県の中西部に位置し、駿河湾に面した53.36km<sup>2</sup>の町です。北部には茶産地として全国的に知られる牧之原台地、南東部には広大な砂浜で知られる静波海岸があります。

当町は、美しい四季に恵まれた町で、春は新茶のみずみずしい若芽が大地を彩り、夏は100万人を超える人々が静波海岸を訪れます。秋は、稲穂が町を黄金色に染めあげ、冬は雪を知らない穏やかな気候のなかで、若者たちがサーフィン・ボートセーリングに興じています。

このような豊かな自然に恵まれた榛原町は、一方で県営



都市対策砂防 三の谷沢



静波海水浴場

静岡空港という大きなプロジェクトを掲げる町として、「自然と人間の共生」をテーマとしたまちづくりを進めています。

さて、当町には人家5戸以上の急傾斜崩壊危険箇所が33箇所あり、そのうち7箇所については崩壊危険区域の指定を受け、崩壊防止工事が施工されています。また、土石流危険渓流も9箇所あり7箇所が施工されています。落石、がけ崩れ等の土砂災害から人命、財産を守るため、今後もこれまで整備された施設の維持管理に努め、住民の認識と協力のもと災害防止に万全を期すると共に、国・県をはじめとする関係機関のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新居町

新居町 都市産業課長 疋田敏行

新居町は、県西部の浜名湖今切れ口の西岸に位置し、「水と緑と光、語らいと創造」をキャッチフレーズに、町づくりに取り組んでいます。

当町には、全国で唯一建物が現存する特別史跡「新居関所」があり、東海道五十三次の宿場とともに歴史あふれる町であります。また、関所とともに太平洋と浜名湖に囲まれた今切れ口一帯は、自然景観を活かした浜名湖今切パークとして、今年度オープンした体験物産施設「海湖館」を中心に海釣り講演、栈橋、バーベキュー場、植物園、わんぱくランドなど表浜名湖の新しい観光スポットとなっ



大倉戸急傾斜地崩壊危険区域



浜名湖今切パーク「海湖館」

ています。

さて、当町には、30箇所の急傾斜地崩壊危険箇所があり、昭和48年から順次急傾斜地の指定を行い、防災対策を進めています。また未整備の箇所がありますので、国や県のご協力をいただき今後も砂防事業に取り組んでいきますので関係各位のご支援をお願いいたします。



# 案内コーナー

## 「砂防研修会」開催

安心安全な国土づくりにご活躍中の、国土交通省富士砂防事務所の富田陽子所長を講師にお迎えし、「砂防研修会」を開催します。

日時 平成15年11月5日(水) 9:30受付  
研修会/10:00~12:00  
会費 無料  
場所 静岡クーポール会館(静岡市紺屋町)  
講演 タイトル【環境砂防】  
主催 静岡県建設コンサルタント協会  
後援 全国治水砂防協会静岡県支部  
問合せ先 昭和設計(株) 総務課  
TEL054(245)6012



## 安倍川SABOウォーク参加者募集

国土交通省静岡河川事務所では、11月9日(日)に安倍川上流で行っている砂防事業等について県民の皆さんに理解と関心を深めていただくために、「安倍川SABOウォーク」を実施します。

※定員40名程度、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

集合場所 県庁前  
参加費用 大人100円、子供50円(保険代に充当)  
見学場所 大谷崩れ、砂防施設など  
申込先 国土交通省静岡河川事務所 内  
安倍川SABOウォーク実行委員会  
〒420-0068 静岡市田町3-108  
TEL054(273)9104  
申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して10月31日までに上記までお申込み下さい。



## 2005砂防カレンダー 現場周辺の山・谷・川の写真コンテスト

テーマ 砂防関係工事(砂防堰堤工事、地すべり、がけ崩れ対策工事など)現場や現場周辺の山、溪流、花、動物などを題材としたもの。

応募資格 制限はありません  
サイズ カラー写真で四切りサイズ(四切りワイド含む)



締め切り 夏の写真 H 15. 9.30 (締め切りました。)  
秋の写真 H 15.12.26 (消印有効)  
冬の写真 H 16. 3.31 ( " )  
春の写真 H 16. 6.30 ( " )

問合せ先 NPO法人 砂防広報センター  
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1  
TEL03(3459)1591  
<http://www.sabopc.or.jp/>

## 土砂災害防止に関する 絵画・作文・ポスターの応募御礼

6月1日~9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

なお、入選発表は及び表彰式は平成16年3月を予定しております。



### 【応募状況】

部門	小学校	中学校	合計
絵画	26	7	33
ポスター	23	26	49
作文	8	10	18
合計	57	43	100

## 平成15年 10-12月 砂防関係の 主な行事

- 11月9日 安倍川SABOウォーク (静岡市)
- 11月19~20日 市町村等砂防担当職員研修 (山梨県)
- 11月20~21日 東海4県砂防協会支部長会議 (三重県)  
全国治水促進大会 (東京都・砂防会館)
- 12月2日 静岡県支部砂防関係事業促進の要望  
(本県選出国会議員等)
- 12月9日 富士山土砂災害対策連絡会(仮称)  
(東京都・砂防会館)



### 【表紙写真】 夕照虹彩

平田弘治(富士宮市根原)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております!皆さんの御協力をお願い申し上げます。詳しくは下記宛にお問合せ下さい。

## 編・集・後・記

7月24日~26日に行われました市町村長等砂防事業県外視察で青森県の砂防事業を視察しました。連日の雨、最終日は宮城沖地震の余波で新幹線が遅れるなど予定通りの行程とはいきませんでした。無事に終ることができましたことを、参加者の皆さんをはじめ関係各位の方々に御礼申し上げます。

また、天候不順の折、ご健康にご留意のほどお祈り申し上げます。